

※会派意見への対応案に関する関係部分のみ抜粋（修正箇所は、下線部）

## 4年間を通した議会活動の評価及び次期改選後議会への提言

（たたき台）

### 一 趣旨

【略】

### 二 総括

「議会活動計画の仕組み」については、議員任期4年間の主な議会の取組を掲げるとともに、その取組の評価を行い、継続的な改善活動を実施することができました。また、「議会活動計画に基づく取組」については、計画どおりに実施し、県政に議会の意思を反映させることができました。

このようなことから、「議会活動計画の仕組み」については、継続的な改善につながるという点で、一定の評価ができます。また、「議会活動計画に基づく取組」については、十分に組み組めたと評価できます。

しかしながら、取組の評価基準、委員会における議員間討議の活性化や運営の在り方等について、課題が明らかになりました。

こうした評価を踏まえ、次期改選後議会においては、議会改革推進会議において、引き続き、議員任期4年間を見据えた議会活動計画を策定し、計画的な議会活動の実施・評価を行っていくとともに、本評価によって明らかになった課題への対応について検討していくことを提言します。

### 三 4年間を通した議会活動の評価

【略】

#### 四 次期改選後議会への提言

「三 4年間を通じた議会活動の評価」を踏まえて、次期改選後議会において、「引き続き取り組むことが望まれる事項」と「見直し等の検討が望まれる事項」について、次のとおり提言します。

##### 1 引き続き取り組むことが望まれる事項

【略】

##### 2 見直し等の検討が望まれる事項

###### (1)「議会活動計画の仕組み」

###### ①評価サイクルについて

次期改選後議会における議会活動計画は、知事による「みえ県民力ビジョン」の次期行動計画と策定時期が重なることが見込まれます。

議会として、次期行動計画の策定段階からどのように関わっていくかということが重要であることから、次期改選後議会において議会活動計画を策定する場合には、次期行動計画の中間案の議会への提示が2019年9月に見込まれることを踏まえ、次の事項について検討することが望まれます。

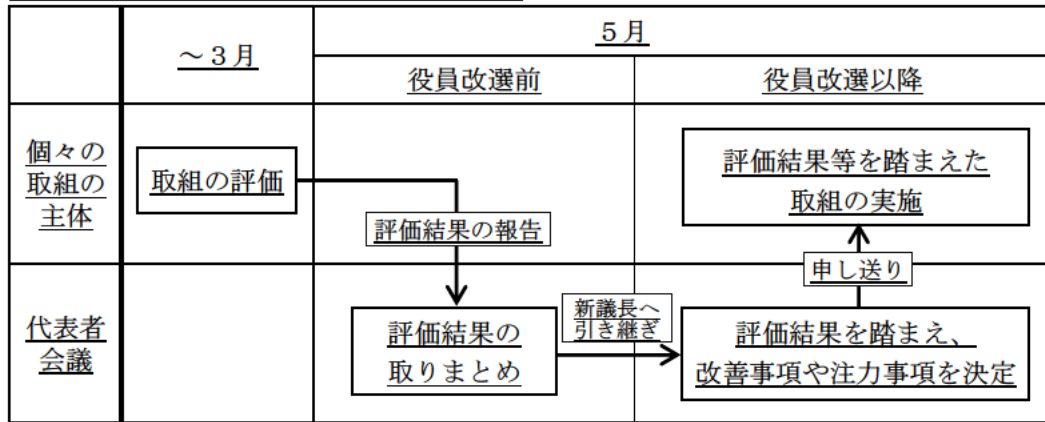
- ・次期行動計画の策定段階からの議会の関わり方の方向性
- ・議会活動計画の2019年9月上旬までの策定

###### ②評価の手法について

(i)「議会活動計画に基づく取組」（「知事等との関係」や「県民との関係」に関する取組）について、毎年度の評価を十分に行うため、次の事項について検討することが望まれます。

- ・「議会活動計画に基づく取組」について、毎年度の評価を行うことを、単年度評価のサイクルにおいて明確に位置付けるとともに、その評価を踏まえ、翌年度において改善すべき事項や注力すべき事項について引き継いでいく仕組みを構築すること
- ・個々の取組に応じた適切な評価主体の設定（「議会活動計画に基づく取組」のうち、広聴広報に関する取組は、広聴広報会議において評価を行うなど）等

<単年度評価サイクルのイメージ>



(ii) 議会活動の目的や成果等を県民に分かりやすく伝えていくため、次の事項について検討することが望まれます。

- ・ 議会の取組の目的や効果を県民に伝えるための手段としての評価制度の活用
- ・ 取組の目的や目標、期待する成果に照らした評価基準の設定及び議員間や年度間で共通性のある一定の評価フォーマットの作成
- ・ 評価基準や評価フォーマットを作成する前提として、議会活動計画の策定段階における取組の目的や具体的な目標、期待する成果の設定等

(iii) 【略】

(2) 「議会活動計画に基づく取組」

【略】